

企業名：日清紡ホールディングス

レポート名：統合報告書 2022

## 1. この会社が目指す姿が理解できるか

日清紡ホールディングス(以下、日清紡)は「挑戦と変革。地球と人びとの未来を創る」を企業理念に据えて、「環境・エネルギーカンパニー」として超スマート社会の実現を目指している。日清紡はインフラストラクチャー&セーフティー、モビリティ、ライフ&ヘルスケアを3つの戦略的事業領域として掲げている。

その各事業領域において、異常気象やCO<sub>2</sub>削減、超高齢社会等の日本及び世界が抱える問題に危機意識を持って取り組んでいることが読み取れる。そして、こうした社会の今後の動向に着目してニーズのある分野での事業展開を進めている。さらに、それぞれの取り組みがどのようにESGに結びついているかが理解しやすく記述されている。以上のことから、日清紡の目指す将来像を理解することができると思う。

## 2. この会社の競争優位性が理解できるか

日清紡は、無線・通信技術や、電子デバイス技術、ケミカル技術などの高い技術力がグループの強みだと明示している。これらの技術を生かした、世界トップシェアを誇る銅フリー摩擦材や、世界でも高い評価を得ている3D認識技術、防災システム等に関する解説が十分になされている。

さらに、非財務も含めたリソースの投入やその工夫が、女性管理職及び管理職候補者層の増加や、休業度数率の低下、障がい者の戦略活用に繋がっている。それが多様性・安全性における差別化を実現していると言える。以上のことから、日清紡の競争優位性は理解できる。

## 3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

無線・通信技術の競争優位性が、自動運転や船の自動運航、4Gから5Gへの移行などの成長・拡大が見込まれる市場において今後も持続するような取り組みを記述している。ケミカル技術に関しても、超高齢社会である日本において介護・医療の重要性の高まりや、環境に配慮した資源・エネルギーの活用を念頭に置いた事業展開を明確に説明している。また、地球規模で重要な問題に繋がる事業を展開することで、取締役会長の発言にもあるように中長期的な企業価値の向上を目指す姿勢が読み取れる。

さらに、多様性の尊重やワークライフバランスの推進に向けた活動に関する解説が十分になされている。以上のことから、日清紡の競争優位性に持続性はあると思う。

## 4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

日清紡の研修制度は人材育成のために効果的だと感じた。例えば、新入社員から新係長・新課長・新部長へつながる階層別研修は社員の会社へのコミットメント意欲を高めるインセンティブになる。加えて、各種スキル研修、キャリア研修、一般教育、専門教育といった充実した研修制度は個人のスキル向上の機会を十分に設けていると言える。ゆえに、日清紡に就職して自分のスキル向上は可能と考える。

次に女性という立場から判断する。女性活躍推進法に基づいて日清紡が策定した一般事業主行動計画において掲げられている目標や対策は、女性の活躍・スキル育成を後押しするに足ると判断する。これらのことから、この会社での自身の人的資本の価値向上は達成可能と考える。

## 5. 報告書にはどのような改善余地があるか

社外取締役インタビューにおいて、各種委員会での役割についての記載があるとなおよいと考える。なぜなら、会社全体における役割だけでなく、個々の委員会における役割も述べることで取締役の実効性評価が高まると考えるからだ。

次に企業の歴史について、日清紡が様々な時代を通じてどのような成功・失敗を重ね、現在のビジョン・事業ポートフォリオを有するに至ったのかをもう少し解説した方が良いと感じた。特に失敗について隠すことなく述べることで、企業の透明性を高めることに繋がると考える。

コーポレート・ガバナンスの項目に関して述べる。取締役議長による日清紡のガバナンスの在り方、2021年度の主な議論内容、社外取締役から見た企業像等についての内容が記述されていると、経営陣の経営意識への理解がより深まると考える。また、株主の代表としての社外取締役の活動も明記されていると実効性評価の判断がより容易になると推察する。

また、ESGの個別テーマの取り組みに繋がるため、投資家との対話は必要だと考える。さらに、ステークホルダーに対して耳を傾ける姿勢があることを示すことにも繋がる。

従業員エンゲージメントについて、日清紡がどのようなエンゲージメントを行っているかの記載はあるものの、従業員サーベイ結果のどのデータ開示が見受けられない。そのため、従業員サーベイ結果をデータ開示することが改善点だと考える。それによって、企業側の働きかけが整合性のあるものなのか判断できると推察する。